

各 位

会 社 名 株式会社フルキャストテクノロジー
 代 表 者 名 代表取締役社長 貝塚 志朗
 (J A S D A Q ・ コード 2458)
 問 合 せ 先 役 職 氏 名 取 締 役 塚 原 進 午
 役 職 氏 名 サブマネージャ 元 井 祐 治
 電 話 番 号 0 3 - 4 5 7 7 - 0 2 0 0

平成 21 年 9 月 期 業績予想の修正ならびに
特別利益および特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 4 月 27 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 9 月 期 個別業績予想の修正等

(1) 通期 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回予想 (A)	6,700	150	141	0	0.00
今回修正 (B)	6,501	228	224	△1,058	△18,687.34
増減額 (B-A)	△198	78	83	△1,058	—
増 減 率	△3.0	52.4	58.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 9 月 期)	9,082	3	0	△95	△1,688.57

(2) 修正の理由

世界の金融市場の混乱に端を発する経済情勢の急激な悪化にともない、当社の主要顧客である製造業におきましては大幅な減産、在庫調整、設備投資の抑制や雇用調整等の実施をする企業が増加しております。

この影響により、当社の営む人材アウトソーシング事業におきましては、前回予想を大きく下回り、顧客企業との派遣契約更新の打ち切り、派遣料金の引下げ、稼働時間の短縮等により更に厳しい状況のもと、売上高につきましては当初計画を下回り通期では198百万円の減少の6,501百万円の売上高となる見込みであります。

営業利益につきましては、採用人数の抑制、待機技術社員の休業措置、賞与支給率の引下げ、希望退職による人件費の削減、採用費の削減、G. E. T. プログラム (※) の一時休止に伴う教育研修費の削減、支店の統廃合、寮の集約化等による家賃地代の削減等の実施を行うことにより、通期では前回予想を上回る228百万円の営業利益となる見込みであります。

経常利益につきましても、営業利益の増加に伴う影響により、前回予想を上回る224百万円の経常利益となる見込みであります。

当期純利益につきましては、以下に記載のとおり、特別利益333百万円、特別損失1,237百万円を計上する見込みであり、前回予想を下回り通期では、1,058百万円の当期純損失となる見込みであります。

(3) 特別利益の発生

雇用調整助成金、離職者住宅支援助成金、求職活動等支援給付金の支給申請の実施により、通期で333百万円を特別利益に計上する見込みであります。

(4) 特別損失の発生

休業措置による人件費等を通期で447百万円、平成19年7月に事業を譲受けた韓国人技術者の派遣事業についてG. E. Tプログラムの一時休止および、平成20年2月に株式会社エグゼコミュニケーションズより譲受けたネットワークエンジニアの派遣事業において、近い将来大きな業務改善・収益獲得が見込めないため、当該事業の「のれん」の減損処理をそれぞれ85百万円・258百万円、支店の統廃合による費用12百万円、一棟寮解約による費用107百万円、本社移転費用192百万円、退職特別加算金等117百万円をそれぞれ特別損失に計上する見込みであります。

※ G. E. TプログラムとはGlobal Engineer Training programの略で、日本人留学生および外国籍の技術者を対象として、採用および独自のプログラムに基づく研修の実施を行い、付加価値の高いエンジニアの採用・育成を実施する制度であります。

以 上